



はなやま 27号 もくじ

①慶友脊椎センターについて

②ヘルニコアについて

慶友脊椎センターの取り組み

○慶友脊椎センター長：河野 仁（こうの ひとし）

略歴

副院長、整形外科部長

平成2年慶應義塾大学医学部卒

足利赤十字病院、国立栃木病院、国立病院機構村山医療センター整形外科医長及び臨床研修センター形態学研究部診断画像研究室長を経て、平成20年7月より当病院勤務

日本整形外科学会専門医、脊椎脊髄外科指導医、認定脊椎脊髄病医、日本整形外科学会専門研修指導医、慶應義塾大学医学部客員准教授、医学博士

○慶友脊椎センター所属医師

センター長：河野仁

副センター長：片岡 嗣和 渡邊 泰伸 中道 清広 橘 安津子

センター員：木瀬 英喜 高見澤 悠平 甲斐 公博

アドバイザー：細金 直文 竹内 拓海 尾崎 正大 名越 慈人 岩波 明生

○脊椎センターについて

当センターは脊椎脊髄病学会指導医 5 名と 3 名の医師で構成されています。背骨に対する一般的な手術に加え、頚椎・腰椎における低侵襲手術の実施、難治例や特殊な病態に対する高度専門医療を行っています。また、これまでの臨床成績を解析し得られた知見をもとに学会報告、論文の作成を積極的に行っています。

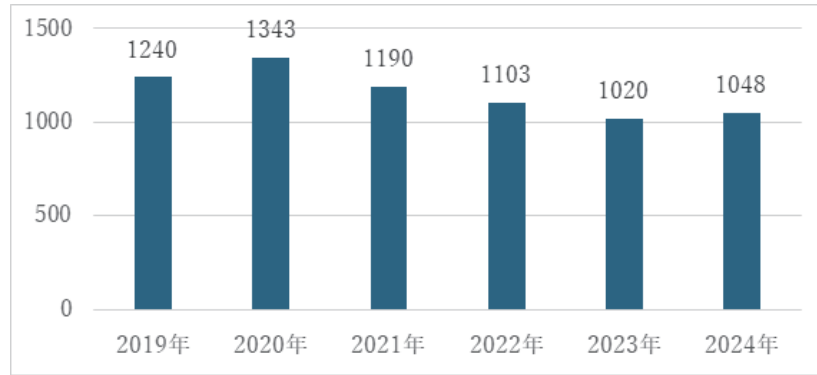


図 1：年間手術件数

○手術実績について

令和 6 年度の手術件数は 1,048 件で、12 年連続で 1000 件を超える手術を行っています（図 1）。頚椎手術は頚椎症性脊髄症、頚椎症性神経根症、頚椎椎間板ヘルニアなどを対象に椎弓切除術や椎弓形成術などの後方除圧術、前方固定術など病態に応じた多彩な手術を行なっています。腰椎手術では腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、すべり症などに対して除圧術や固定術を実施しています。その他にも胸椎に対する手術や成人脊柱変形、思春期特発性側弯症に対する矯正固定術、腫瘍に対する手術なども行なっています。2019 年 3 月より O-arm イメージングシステムを導入しています。手術中にリアルタイムで三次元の画像撮影が可能となります。三次元画像をもとにしたナビゲーションシステムにより安全で精度の高い手術が可能です。



図 2：O-arm イメージングシステム

手術以外の治療は腰椎椎間板ヘルニアに対する椎間板内酵素注入療法（ヘルニコア）や神経根ブロックなどの保存治療も行なっています。今回はヘルニコアについてご紹介いたします。

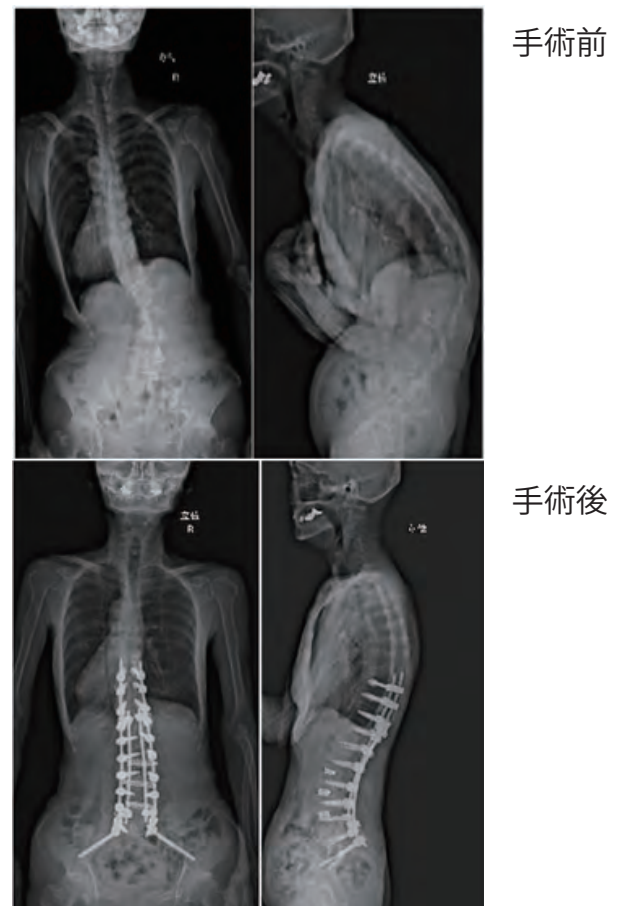


図 3：成人脊柱変形に対する矯正固定術の例

○椎間板内酵素注入療法（ヘルニコア）とは

腰痛や脚のしびれは、年代を問わず多くの方が悩む症状です。その原因のひとつである「腰椎椎間板ヘルニア」は、背骨の間にある椎間板がふくらみ、近くの神経を圧迫することで起こります。通常は薬などの保存療法で改善しますが、症状が長く続く場合には、別の治療を検討することもあります。その選択肢のひとつとして近年注目されているのが、ヘルニコアを用いた椎間板内酵素注入療法です。2018年に国内で承認され、現在は保険診療として実施可能な治療法です。

ヘルニコアは、椎間板の中にある“髄核”の保水成分（プロテオグリカン）を分解して体積を減らす働きをもつ薬剤です。椎間板のふくらみを小さくすることで神経への圧迫を和らげることが期待されます。入院期間は1日で、入院日に注射を実施し、翌日退院となります。

○どのような方が対象となるのか

すべてのヘルニアの方に効果があるわけではありません。ヘルニコアが適応となるのは、MRIで椎間板ヘルニアが確認され、神経の圧迫による痛みやしびれがある方のうち、薬物治療や注射などの保存療法で効果が得られなかった患者さんが中心です。また次のような場合は適応にならないこともあります。

- ・高度な椎間板変性（すでに潰れている場合）
- ・椎間板の外に髄核が完全に飛び出している場合（遊離ヘルニア）
- ・過去に同じ椎間板に手術を受けた場合

MRI画像や症状をもとに、治療効果が見込めるかを慎重に判断し行なっています。

○実施後の経過と効果について

ヘルニコアが髄核の成分に作用するまでには一定の時間が必要とされています。注射を行ってから数週間から数か月かけて症状が軽減していくことが多いです。ヘルニコアの有効率（実施後50%以上下肢痛が改善した方の割合）は70-80%と良好であることが報告されています。治療直後に腰痛や下肢痛が出るがありますが、多くは一時的です。また、まれに椎間板炎やアナフィラキシーなどのアレルギー反応などの副作用が報告されているため、異常を感じた場合には早めに受診することが大切です。

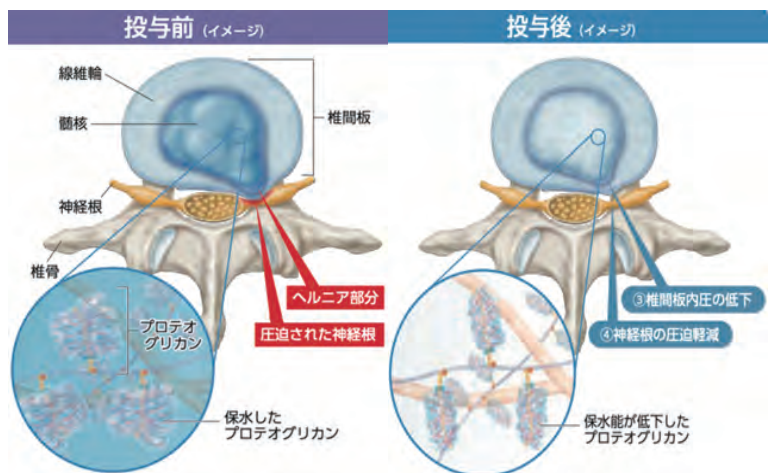


図4：ヘルニコアの作用（投与前、投与後のイメージ）
科研製薬株式会社 HP より引用：
<http://kaken-hernicore.jp/guide/>

○手術との違い

ヘルニコアは「保存療法だけでは不十分だが、直ちに手術が必要というほどでもない」段階で用いることが多い治療です。切開をしない、骨や椎間板を直接切除しない、入院期間が短いといった特徴があり、身体への負担が手術より軽い点が大きな利点です。ただし、すべてのケースで効果が得られるわけではなく、症状やヘルニアの位置・形によっては手術を選択する方が早期改善につながる場合もあります。

○治療後に大切なこと

ヘルニアで症状が改善しても、椎間板にかかる負担を減らさなければ再発のリスクは残ります。治療後の生活習慣や体の使い方がとても重要です。以下の動作は気をつけましょう。

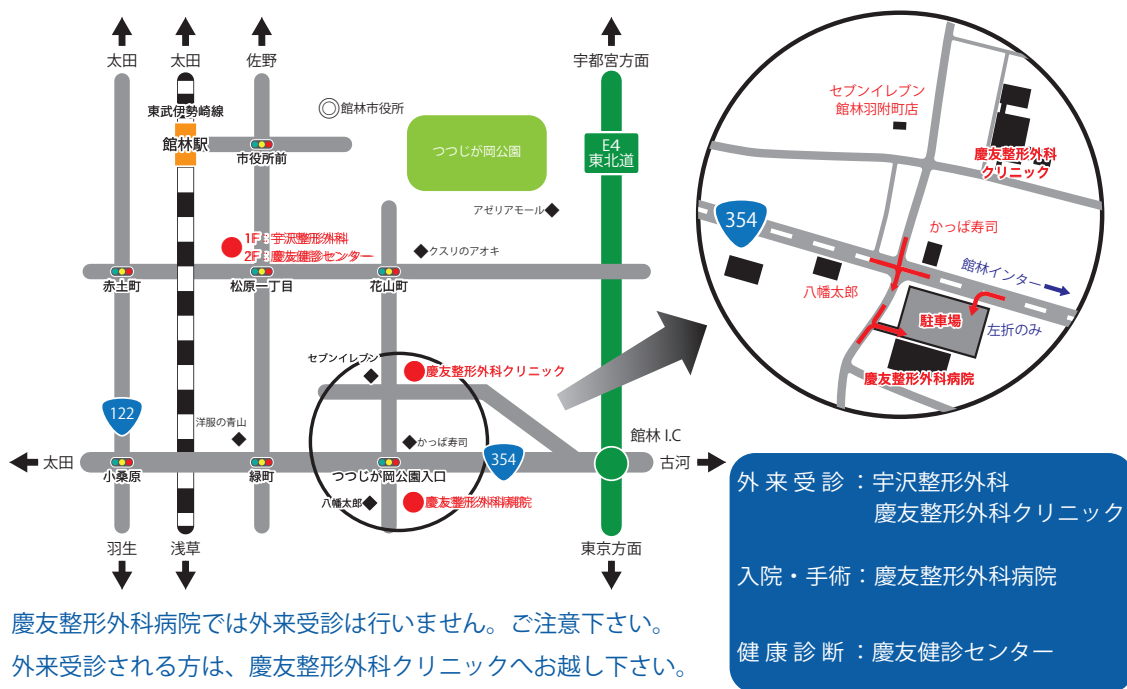
- ・長時間同じ姿勢を避ける
- ・正しい座り姿勢や立ち方を意識する
- ・無理のない範囲で体幹トレーニングを行う
- ・重い物を持つ動作を工夫する

多くの方は、リハビリテーションの指導を受けながら生活動作を見直すことで、より長く良い状態を維持できます。

○さいごに

今回は腰椎椎間板ヘルニアの治療の一つである椎間板内酵素注入療法（ヘルニコア）をご紹介します。脊椎疾患の治療には、薬物療法・手術治療・注射・リハビリテーションなどの多くの選択肢があります。当センターでは、患者さんの訴える症状やレントゲン・MRI・CTといった画像所見、患者さんの生活背景に合わせて、最も適した治療を提供致します。また、安全で質の高い治療を提供するため、学会発表や研究活動にも継続的に取り組んでいきます。

Information



入院・手術 慶友整形外科病院 0276-49-9000 〒374-0013 群馬県館林市 赤生田町 2267	外来 慶友整形外科クリニック 0276-72-6000 〒374-0011 群馬県館林市 羽附町 1741	社会医療法人 慶友会 http://www.ku-kai.or.jp	外来 宇沢整形外科 0276-74-8761 〒374-0016 群馬県館林市 松原 1-10-30	健診・ドック 慶友健診センター 0276-75-7000 〒374-0016 群馬県館林市 松原 1-10-30
--	---	--	--	--